

# 「最新歯科治療『All-on-4』」

【監修】医学ジャーナリスト・松井宏夫

失った歯の部位にチタン製の人工歯根を埋め込み、あごの骨にしっかりと固定させた後、その上に人工歯（義歯）を着着させるインプラント治療。

インプラント義歯は従来の入れ歯と異なり、天然歯とほとんど変わらない感覚でものをかむことができるため、最先端歯科治療として定着しつつあるが、外科手術が避けられないことや治療期間が長くかかることが悩みのタネだった。

しかし最近、「最小限の外科処置」という治療概念の下、All-on-4など「患者にやさしい」治療法が開発され、注目を集めている。気になるインプラント治療の最新線を探った。

## 患者中心の医療が求める「口腔機能の即日回復」 「ミニマル・インターベンション」(最小限の外科処置)インプラント

——ミニマル・インターベンションとは、どのようなものですか？

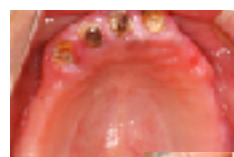
高橋 日本人はあごの骨が痩せて骨量が不足している人が多いため、これまではインプラント治療を行うために骨を増やす手術や骨移植術が適応される場合が非常に多かったのです。

そのような手術をすると、骨が治るまで長期間待たないといけません。しかし、大がかりで体の負担も大きい外科手術が好きな患者さんはいませんし、治療期間は短い方がいいに決まっています。そこで、MIという概念の導入こそが、「患者中心



たかはし歯科院長  
高橋 啓（たかはし・あきら）  
1994年北海道医療大学歯学部卒。1999年広島大学大学院修了。歯学部、患者中心のインプラント研究会を主宰。新しい治療概念である「ミニマル・インターベンション」を展開している。

のインプラント治療」の実践に不可欠だと確信し、開院当初から積極的に導入してきました。もちろんMIをもとにしたインプラント治療を実践するためには、多くの最新術式に対応



インプラント治療は、骨が治るまで長期間待たないといけません。しかし、大がかりで体の負担も大きい外科手術が好きな患者さんはいませんし、治療期間は短い方がいいに決まっています。そこで、MIという概念の導入こそが、「患者中心

できなければなりません。そのため、年に数回は海外に出て、最新の情報を直接入手しています。

MIインプラント治療は、さまざまな最新術式から成り立っている。その代表的術式である「All-on-4（オールオン4）」について、リスボン（ポルトガル）まで行って、術式の開発者であるパウロ・マロ博士に直接指導を受けた「ヘルスケア歯科クリニック」（広島市）の菊崎健司副院長に聞いた。



ヘルスケア歯科クリニック副院長  
菊崎 健司（きくざき・けんじ）  
1994年広島大学歯学部卒。1998年広島大学大学院修了。歯学部、患者中心のインプラント研究会を主宰。新しい治療概念である「ミニマル・インターベンション」を展開している。

MIインプラント治療は、さまざまな最新術式から成り立っている。その代表的術式である「All-on-4（オールオン4）」について、リスボン（ポルトガル）まで行って、術式の開発者であるパウロ・マロ博士に直接指導を受けた「ヘルスケア歯科クリニック」（広島市）の菊崎健司副院長に聞いた。

——画期的なMIインプラント治療として大きな注目を集めているオールオン4ですが、世界中で反響を呼んだ理由は何かでしょうか？

菊崎 例えば、歯周病が進行して一本も歯が残せない患者さんに従来インプラント治療を行う場合、多くは歯周病で骨が失われているため、臼歯（後ろの歯）の部分に骨移植や、骨造成手術



こ治療は、骨が治るまで長期間待たないといけません。しかし、大がかりで体の負担も大きい外科手術が好きな患者さんはいませんし、治療期間は短い方がいいに決まっています。そこで、MIという概念の導入こそが、「患者中心

術を避けることができ、その日のうちに全部の歯が入ります。まさに、患者さんの夢をかなえた治療法ですから、世界中で注目されたのだと思います。



菊崎 健司（きくざき・けんじ）  
1994年広島大学歯学部卒。1998年広島大学大学院修了。歯学部、患者中心のインプラント研究会を主宰。新しい治療概念である「ミニマル・インターベンション」を展開している。

ント治療を積極的に実践している「あべやま歯科クリニック」（北九州市）の木村勝彦副院長にまともしてもらった。

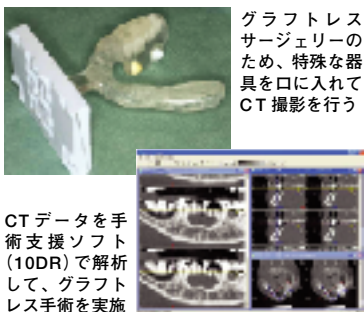
——最近、注目され始めたMIインプラント治療ですが、今後は、このような治療法が主流になっていくのでしょうか？

木村 これまでわたしたちは、骨移植やGBR（骨誘導再生法）などを積極的にインプラント手術に適用してきました。これらの方法は大きな成功を収めてきましたが、問題もありました。手術が大がかりになることや、治療期間の長期化です。これらの問題は、患者さんにとって切実でした。手術が好きな患者さんはいませんが、誰もが一刻も早く歯を入れてほしいと思っ

ているからです。欧米では、このような患者さんのQOL（生活の質）にかかわる問題点が重視されるため、MIインプラント治療の概念が生まれたのだと思います。話題のオールオン4やグラフトレス・フラップレス手術などは患者さんの手術負担を減らし、治療期間の短縮を可能にする代表的なMIインプラント治療です。

「患者中心の歯科医療」から生まれた新しい治療概念のMIインプラント。これから、インプラント治療を受けようと考えている患者にとって、忘れてはならない重要なキーワードの一つと考えてよさそうです。

### シリーズ医療 新世紀



CTデータを手術支援ソフトで解析して、グラフトレス手術を実施

CTデータを手術支援ソフトで解析して、グラフトレス手術を実施



上あごはオールオン4、下あごも即時インプラント治療により即日

**DATA**

愛媛県南宇和郡  
**たかはし歯科**  
愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲1916-1  
TEL 0895-72-5888  
http://www.tak-dental.com

---

広島県広島市  
**ヘルスケア歯科クリニック**  
広島県広島市中区袋町4-3 滝口ビル2F  
TEL 082-245-7878  
http://www.healthcare-dental.com

---

大阪府大阪狭山市  
**千葉歯科医院**  
大阪府大阪狭山市狭山1-864-1  
TEL 072-365-4825  
http://www.chiba-dental.com

---

福岡県北九州市  
**あべやま歯科クリニック**  
福岡県北九州市小倉南区湯川1-9-7  
TEL 093-931-4188  
http://www.abeyama-dc.com